

主なご意見・課題		対応状況
SAFの導入促進	国際競争力のある国産SAFの安定供給が非常に重要	GX経済移行債を活用した大規模なSAF製造設備への投資支援や、生産・販売量に応じた税額控除の導入（資源エネルギー庁） 【資料 3_P.5~7】
	SAFの地産地消においてコストが課題	地産地消によるSAF導入支援 【資料 3_P.13】
航空機環境新技術の導入	国際標準化のスキルを持った人材の活用	国内協議団体の基本方針・活動方針 【資料 3_P.22】
	試験設備や実験機の整備には、既存の設備・機体の活用も含めて早期に取り組む必要	産構審の検討結果を受けた新技術官民協議会等における開発用試験設備の検討 【資料 3_P.25】
	電気航空機や水素航空機の開発にあたっては、運航者目線も入れつつGI基金やNEDOプロなども積極的に活用	・エアラインを含む産学官の連携 ・グリーンイノベーション基金による技術開発支援 【資料 3_P.19~P.21】
その他	脱炭素化コストを利用者にご負担いただくため理解促進が必要	・広報活動の強化 【資料 3_P.27】 ・旅客や荷主等の航空利用者へのSAF利用によるCO2排出量削減の可視化に向けた支援 【資料 3_P.11,12】
	さまざまな観点から諸外国との連携強化を	・グリーンレーン構想等による諸外国との連携強化 【資料 3_P.32】
	SAFだけに頼れない。炭素クレジットの活用も議論すべき。	・航空会社による炭素クレジットの調達を後押し 【資料 3_P.31】